

トウモロコシ

って、なに？

イネ科

○トウモロコシのふるさと・来歴って…

トウモロコシはおよそ7000年前メキシコ周辺の洞窟に、古代インディオが住んでいた洞窟の中にトウモロコシの芯が捨ててあったのを発見されています。また、インディオの多くの種族にとって、トウモロコシは神様からの贈り物として崇められていました。ただの食べ物としてだけではなく、大切なお祭りやお葬式にもかかわっていたといわれています。

○トウモロコシを食べると…

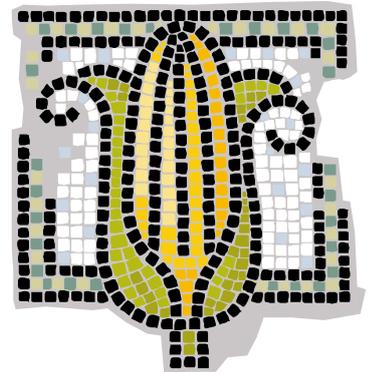
トウモロコシは野菜の中ではカロリーが高く、食物繊維も豊富。また、トウモロコシには原種に近いフリント種、飼料用のデントコーン、ポップコーン原料のポップ種、生食や加工用のスイート種などがあります。中でも私たちが普段食べているのは、スイート種の中のスーパースイート系なのです。

○トウモロコシの産地って…

北海道の生産量は国内で第1位。およそ4割が道内産です。
(スイートコーン)

道内でみると、
第1位 芽室町
第2位 士幌町
第3位 帯広市

(令和元年 北海道野菜地図より)



○トウモロコシの育て方って…

種類の違うトウモロコシを植えるときは要注意です。違う種類のトウモロコシの花粉で受粉してしまい、本来の品種ではないトウモロコシができてしまいます。(キセニア現象)
それを防ぐためには、種類の違うトウモロコシは100メートル以上離して植えるか時期をずらして植えるかをおすすめします。

○ヒゲを見れば○○がわかる！？

トウモロコシのてっぺんに咲くのが雄花で、実のなるところが雌花です。毛1本1本が雌しべで、雄花から飛んでくる花粉で受粉しトウモロコシの実になります。つまり、毛の本数だけ実になれるという訳です。